

15 平成26年8月20日豪雨災害被災地の復興まちづくりの推進について

(国土交通省関係)

要望内容

広域避難路となる都市計画道路整備事業の財源確保
長束八木線の整備

(要 旨)

八木・緑井地区等で発生した土石流などにより77名もの尊い生命が失われ、被災家屋も4,700棟を超える甚大な被害をもたらした平成26年8月20日の豪雨災害から10年を迎えます。

本市では、広域避難路となる都市計画道路や砂防堰堤の整備などにより、今後とも安心して住み続けることのできる災害に強い安全なまちによみがえらせることを基本方針とした「復興まちづくりビジョン」を平成27年3月に策定し、このビジョンに掲げる様々な復興事業に取り組んでおり、今後も引き続き、都市計画道路の整備を進め、復興事業の早期完成を目指していきます。

つきましては、復興まちづくり事業の円滑な推進が図られるよう、継続的な財源確保について、格別の御配慮をお願いいたします。

(参 考)

事業の概要

区 分	事 業 期 間	事業区間 延 長	幅 員	総 事 業 費
被災地域を災害に強い安全なまちによみがえらせる復興まちづくり（防災・安全） （街路事業）				
長東八木線	令和2年度～令和10年度	1,300m	16m	72億円

